

南仏治安情報（2011年6月）

■プロヴァンス地方

1. マルセイユ市における警察のパトロール強化

マルセイユ市では凶悪事件の発生が目立っており、過去2年間で42件の殺人事件が発生し、1日平均26件の暴力事件が発生しています。また、一般犯罪も増加しており、本年1月から3月期には2291件のひったくりや恐喝事件が発生しており、前年同時期に比べ14%の増加を見せています。近年の治安悪化を受け、今後更なる警官配備の強化が予定されています。

2. 商店を狙った強盗事件が頻発

6月には地方紙が報じたものだけで20件の強盗事件が発生しました（マルセイユ市12件、Aix-en-Provence市5件、Aubagne市、Istres市、Rognac市各1件）。タバコ屋、パン屋、ファーストフード店の他、大型スーパーマーケットも被害に遭っています。犯人グループは厳重に武装しており、買い物客が居合わせるケースも多いようです。ご注意ください。

3. 金属窃盗対策としてヘリコプターによるパトロール開始

近年の金属価格の高騰（鋼は過去3年で3倍以上）を受け金属窃盗は後を絶ちませんが、フランス国鉄SNCFと憲兵が協力して、ヘリコプターによるパトロールを開始しました。線路上では特に信号用の電線が切断され電車の運行に大規模な支障をきたしていますが、今後ヘリコプターに搭載した監視カメラが、現行犯逮捕に役立つことが期待されています。

4. 食中毒の発生

6月に入り生野菜やひき肉などによる食中毒の被害が相次いでいますが、今年はEscherichia coliという細菌による中毒患者が多く発生しています。この細菌が体内に入ると3～7日後にひどい下痢などの症状が現れ時に死に至りますが、10人中9人は10日前後で回復します。加熱処理が不十分な肉や乳製品に注意し、調理の際は70度で2分以上、100度で1分以上過熱し、野菜や果物は丁寧に（酢水も効果的）洗うように心がけてください。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 観光客を狙ったスリに注意

初夏の観光シーズンに入りニース市中心部でスリが多発しています。6月に地方紙が報じたものだけでもスリのグループが5組検挙されており、場所はJean-Médecin大通りやMasséna広場、空港などで観光客を狙ったものが多いようです。Tramwayの中や人ごみの中などでは、貴重品に十分注意をするようにしてください。

2. 女性を狙ったひったくり事件

先月に引き続き、一人歩きの女性や高齢者を狙ったひったくり事件が発生しています。被害品は主に金の装飾品や携帯電話で、犯人はグループで被害者を取り押さえて強奪したり、スクーターに乗った2人組が通りすがりにひったくる手口が多いようです。犯行時間は夜間に限らず日中にも起こっていますので、ご注意ください。

3. 小型商店などへの強盗・恐喝事件が発生

6月にはニース市を中心に Menton 市や St Laurent du Var 市などで小型商店やガソリンスタンド等に対する 7 件の強盗・恐喝事件が発生しました。3～5 人組の完全武装したグループによる犯行の他、料理包丁などを用いた単独犯による事件が発生しており、夜間営業の店舗なども狙われています。

4. コルシカ島内での爆破事件

6月19日深夜3時 Ajaccio 市中心部で、アパートの扉の前に仕掛けられたガスボンベによる爆破事件が起きました。子供を含む 8 人が軽傷を負い手当てを受けています。この事件に対する犯行声明などは未だ出されていません。

■ミディ・ピレネー地方

1. オート・ガロンヌ県の空き巣被害が 39%増加

警察と県庁の発表によると、2011年1月～5月期のオート・ガロンヌ県の空き巣被害は、民家への被害が 2924 件、商店などへの被害も併せると 4141 件にも上り、前年同時期に比べ 39%もの増加傾向にあることが明らかになりました。これからのバカンスシーズンに更に被害が増えることが予想されており、警察は「Tranquillité Vacances」サービス等の利用が有効であると広報しています。

2. ゴミ箱や車両への放火事件が発生

トゥールーズ市では 6 月に入り、地方紙が報じたものだけでもゴミ箱への放火事件が 4 件、駐車車両への放火が 6 件（計 24 台）発生しました。犯人は未成年者に多く、犯行時間は夜間や早朝に集中しています。

3. 干ばつの後の家屋のひび割れに注意

3 月からの雨不足を受け今夏は干ばつが予想されていますが、水不足や農作物への影響だけでなく建物への影響も出る恐れがあります。粘土質の地盤が干ばつの後の降雨で水を含むと大幅に膨張し、その地域に建てられた家屋にひび割れや、ひどい場合は壁が割れ落ちる被害が出ます。フランス全土で 40 万軒が対象地域に該当し、中でもミディ・ピレネー地方には注意が促されています。異変が現れたら速やかに市役所などまで通報するようにしてください。

4. 蚊の大発生の予防にご協力を

デング熱やチキンギヤを媒介する蚊（通称 moustique tigre）が 2004 年にアルプ・マリタイム県に現れ、コルシカ島（2006 年）、ヴァール県（2007 年）、2010 年にブーシュ・デュ・ローヌ県でも捕獲され、地中海沿岸に広まってきていることから、南フランスの各地で注意が呼びかけられています。蚊の産卵場所となる植木鉢の水受けや雨樋などに水をためないように改めて注意し、熱帯地方を旅行した場合は急な発熱や関節痛などが起きたらすぐ診察を受けるようにしてください。

* 以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。